



MUSIC SYNTHESIZER

MODX m6

MODX m7

MODX m8

追加機能説明書

目次

Version 3.00 新機能	2
新規エフェクトタイプの追加	3
新規波形の追加	6
新規パフォーマンスの追加	6
Part LFO	7
Scene	9
DAW Remote	10

Version 3.00 新機能

ファームウェアアップデートVersion 3.00により、以下の機能が追加されました。

本書では、オペレーションマニュアルに対して追加または変更となる点についてご説明します。

- ・新規エフェクトタイプ(GS1 Ensemble & Tremolo、CS Ring Modulator、M/S EQ Compressor)を追加しました。
- ・新規波形(Clavi)を追加しました。
- ・新規パフォーマンスを60個追加しました。
- ・Part LFO のDestinationにFM-XとAN-Xのパラメーターを指定できるようにしました。
- ・SceneにNote LimitとNote Shiftを追加し、External Partに対応しました。
- ・DAW RemoteのMode (Remote Control Mode)にESP Controlを追加しました。

新規エフェクトタイプの追加

3つのエフェクトタイプ(GS1 Ensemble & Tremolo、CS Ring Modulator、M/S EQ Compressor)を追加しました。
新規エフェクトタイプと関連するエフェクトパラメーターは以下の通りです。

■ Chorus

エフェクトタイプ	エフェクトタイプの説明	パラメーター名(画面表示)	パラメーターの説明
GS1 Ensemble & Tremolo	GS1(1981年)に搭載されているEnsemble(3相BBDAナログコーラス) & Tremoloを再現した爽やかなコーラスエフェクト	Ensemble BBD Drive (Ens BBD Drive)	EnsembleエフェクトのBBBのひずみレベルを設定する
		Ensemble Dry/Wet (Ens Dry/Wet)	Ensembleエフェクトのドライ音とウェット音(エフェクト音)のバランスを設定する
		Ensemble LFO Depth (Ens LFO Depth)	Ensembleエフェクトの深さを設定する(100でGS1相当)
		Ensemble LFO Speed (Ens LFO Speed)	EnsembleエフェクトのLFOのスピードを設定する
		Ensemble Pan (Ens Pan)	Ensembleエフェクトの広がりを設定する
		Tremolo LFO Depth (Trm LFO Depth)	Tremoloエフェクトの深さを設定する
		Tremolo LFO Speed (Trm LFO Spd)	TremoloエフェクトのLFOのスピードを設定する
		Tremolo On/Off (Trm On/Off)	TremoloエフェクトのOn/Offを設定する
		Tremolo Phase (Trm Phase)	TremoloエフェクトのLFOの位相をLRで反転する

■ Tech

エフェクトタイプ	エフェクトタイプの説明	パラメーター名(画面表示)	パラメーターの説明
CS Ring Modulator	アナログシンセサイザーCSシリーズ搭載のRing Modulatorを踏襲したRing Modulator	Attack (Attack)	変調周波数を変化させるEGのAttack Timeを設定する
		Decay/Release (Decay/Release)	変調周波数を変化させるEGのDecay TimeとRelease Timeを設定する
		Depth (Depth)	変調周波数を変化させるEGの深さを設定する
		Drive (Drive)	ひずみかたの度合いを設定する
		EG Depth Mode (EG Depth Mode)	Depthの挙動を設定する <ul style="list-style-type: none"> Normal: CSシリーズ搭載のRing Modulatorと同じ動作。Depthが1.0のときに到達する変調周波数は、Speedが遅いほど到達までの変化も遅くなる Deep: Depthが1.0のときに到達する変調周波数に、Speedに関係なく最速で到達する
		EG Key On Reset (EG Key Reset)	Onのときにはキーオン時にEGの値を必ず0にする
		EG Mode (EG Mode)	変調周波数を変化させるEGの形状を設定する <ul style="list-style-type: none"> Atk-Dcy: キーオンしている間は、Depthの値に応じて変調周波数が上下する Riser: キーオンしている間は、変調周波数が常に上がり続ける
		Luster (Luster)	音色の周波数バランスを変更する
		Modulation (Modulation)	変調の量を設定する
		Output Level (Output Level)	出力レベルを設定する
		Speed (Speed)	変調周波数を設定する
		Stereoize (Stereoize)	音が左右に広がるステレオ効果を得る

■ Comp (Compressor)

エフェクトタイプ	エフェクトタイプの説明	パラメーター名(画面表示)	パラメーターの説明
M/S EQ Compressor	信号をセンターとサイドの成分に分割し、それぞれにEQとコンプレッサーをかけるエフェクト	Compressor Type (Comp Type)	コンプレッサーのキャラクターを設定する
		M/S EQ Position (EQ Position)	EQをコンプレッサーの前に置くか後に置くかを設定する • Pre: 前、Post: 後ろ、LC: ローカットフィルタ追加 • 「/」の前がMid設定、後がSide設定を表す
		Mid Compressor Curve (M Comp Curve)	M/SのMidのコンプレッサーのコンプカーブやひずみの量を設定する
		Mid EQ High Freq (M EQ High Freq)	M/SのMidの高域EQの周波数を設定する
		Mid EQ High Gain (M EQ High Gain)	M/SのMidの高域EQのゲインを設定する
		Mid EQ High Q (M EQ High Q)	M/SのMidの高域EQのQを設定、Qが最小の時はHSFとなる
		Mid EQ Low Frequency (M EQ Low Freq)	M/SのMidの低域EQの周波数を設定する
		Mid EQ Low Gain (M EQ Low Gain)	M/SのMidにおける低域をEQで増減させるゲイン量を設定する
		Mid EQ Low Q (M EQ Low Q)	M/SのMidの低域EQのQを設定、Qが最小の時はLSFとなる
		Mid Gain (M Gain)	M/SのMidの成分の出力ゲインを設定する
		Mid Makeup Gain (M Makeup Gain)	M/SのMidのコンプレッサーの出力ゲインを設定する
		Mid Threshold (M Threshold)	M/SのMidのコンプレッサーの効き始めの信号レベルを設定する
		M/S Balance (M/S Balance)	M/SのMidの成分とSideの成分のミックスバランスを設定する
		Side Compressor Curve (S Comp Curve)	M/SのSideのコンプレッサーのコンプカーブやひずみの量を設定する
		Side EQ High Frequency (S EQ High Freq)	M/SのSideの高域EQの周波数を設定する
		Side EQ High Gain (S EQ High Gain)	M/SのSideの高域EQのゲインを設定する
		Side EQ High Q (S EQ High Q)	M/SのSideにおける高域EQのQを設定する
		Side EQ Low Frequency (S EQ Low Freq)	M/SのSideの低域EQの周波数を設定する
		Side EQ Low Gain (S EQ Low Gain)	M/SのSideの低域EQのゲインを設定する
		Side EQ Low Q (S EQ Low Q)	M/SのSideの低域EQのQを設定、Qが最小の時はLSFとなる
		Side Gain (S Gain)	M/SのSideの成分の出力ゲインを設定する
		Side Makeup Gain (S Makeup Gain)	M/SのSideのコンプレッサーの出力ゲインを設定する
		Side Threshold (S Threshold)	M/SのSideのコンプレッサーの効き始めの信号レベルを設定する
		Stereo Expander (Stereo Expand)	M/SのSide成分を増加させることでM/Sエフェクトの効果を増加させる

新規波形の追加

Claviの新規サンプリングを追加しました。

鮮明なサウンドで、CAポジションとDAポジションの2種類のピックアップバリエーションを収録しています。

新規パフォーマンスの追加

パフォーマンスを新規に60個追加しました。

新規エフェクトタイプや新規波形を活用したものも含まれています。

追加されたパフォーマンスはデータリストをご参照ください。

Part LFO

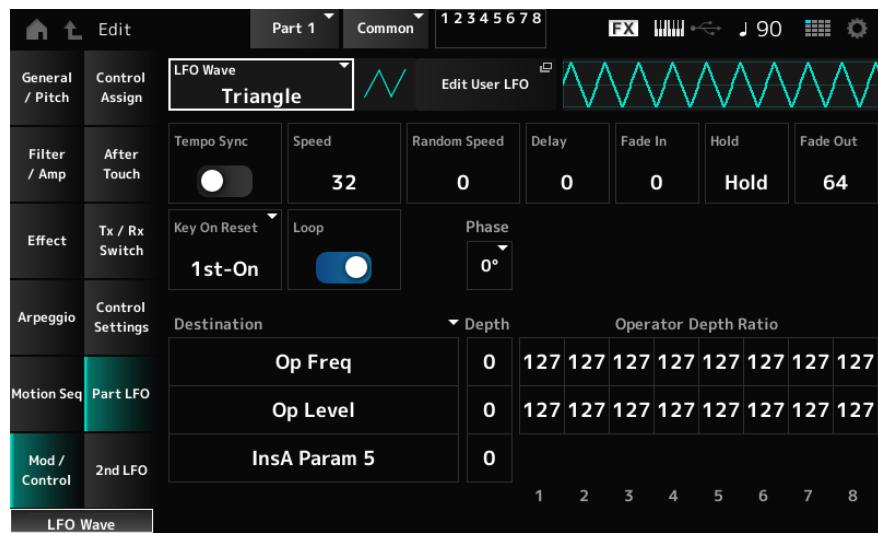
Part LFO のDestinationにFM-XとAN-Xのパラメーターを指定できるようにしました。

Part LFO

表示方法

[PERFORMANCE (HOME)] → Part Common選択 → [EDIT/CD] → Mod/Control → Part LFO

FM-X



Destination (LFO Destination)

LFO Waveでコントロールする機能を選択します。

設定値: Insertion Effect A Parameter1～24、Insertion Effect B Parameter1～24 (インサーションエフェクトによる)、Pan、2nd LFO Speed、Cutoff、Resonance、Feedback、Op Freq、Op Spectral、Op Detune、Op Level

Depth (LFO Depth)

DestinationごとのLFO Waveによるコントロールの深さを設定します。

設定値: 0～127

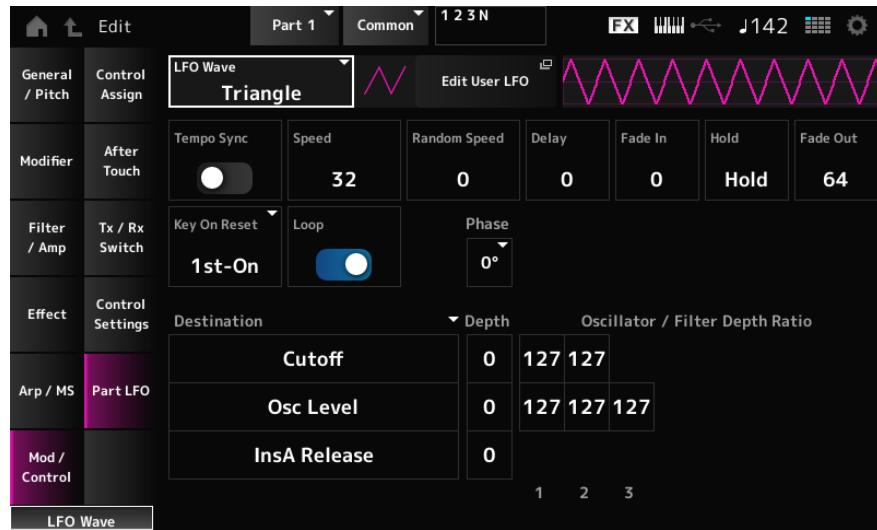
Operator Depth Ratio (LFO Operator Depth Ratio)

Depthをオペレーターごとに調節します。

LFOの効果を切るにはOffに設定します。

Destinationがオペレーターに関する場合だけ表示されます。

設定値: Off、0～127



Destination (LFO Destination)

LFO Waveでコントロールする機能を選択します。

設定値: Insertion Effect A Parameter1～24、Insertion Effect B Parameter1～24 (インサーションエフェクトによる)、Pan、LFO Speed、FM Level、Ring Level、Osc Level、Noise Tone、Noise Level、Folder Texture、Cutoff、Resonance

Depth (LFO Depth)

DestinationごとのLFO Waveによるコントロールの深さを設定します。

設定値: 0～127

Oscillator/Filter Depth Ratio (LFO Oscillator/Filter Depth Ratio)

Depthをオシレーターまたはフィルターごとに調節します。

LFOの効果を切るにはOffに設定します。

Destinationがオシレーターまたはフィルターに関する場合だけ表示されます。

設定値: Off、0～127

Scene

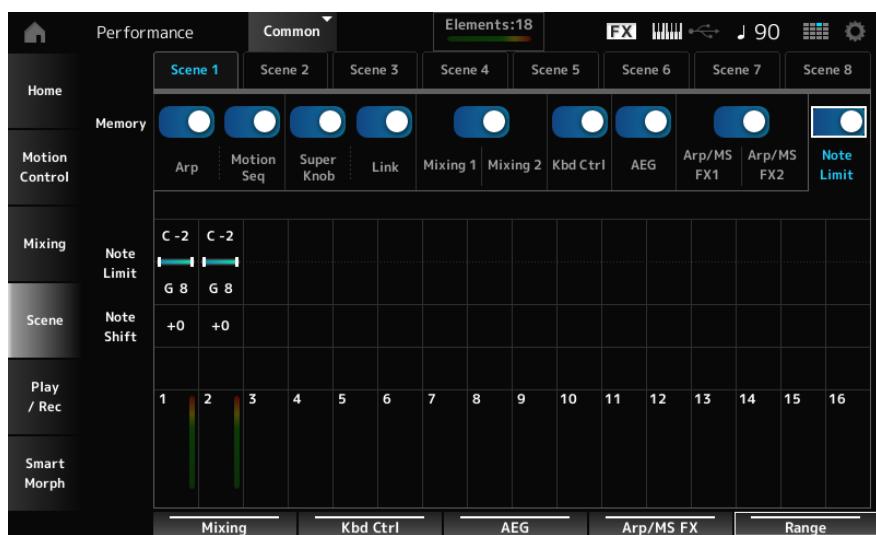
SceneにNote Limitのタブを追加し、Note LimitとNote Shiftを設定できるようになりました。
また、Note LimitとNote ShiftはExternal Partに対応しています。

Scene

表示方法

[PERFORMANCE (HOME)] → Scene

Note LimitのMemory SwitchがOnの場合



■ Internal

Note Limit

ノートの範囲(最低音と最高音)を設定します。

C5～C4のように最低音が最高音より高い設定の場合は、C-2～C4とC5～G8の範囲で発音します。

設定値: C-2～G8

Note Shift

本機内蔵の音源での発音ノートのピッチを半音単位で調節します。

設定値: -48～+0～+48

■ External

Zone Note Limit

ゾーンのノートの範囲(最低音と最高音)を設定します。

C5～C4のように最低音が最高音より高い設定の場合は、C-2～C4とC5～G8の範囲で発音します。

設定値: C-2～G8

Zone Note Shift

MIDI送信するノートのピッチを半音単位で調節します。

設定値: -47～+0～+47

DAW Remote

DAW RemoteのMode (Remote Control Mode)にESP Controlを追加しました。

ESP Controlは、Expanded Softsynth Plugin (ESP) for MONTAGE M/MODX M を操作するためのモードです。これにより、MODX MとESPの連携がスムーズになります。

DAW Remote

表示方法

[DAW REMOTE]

Mode (Remote Control Mode)

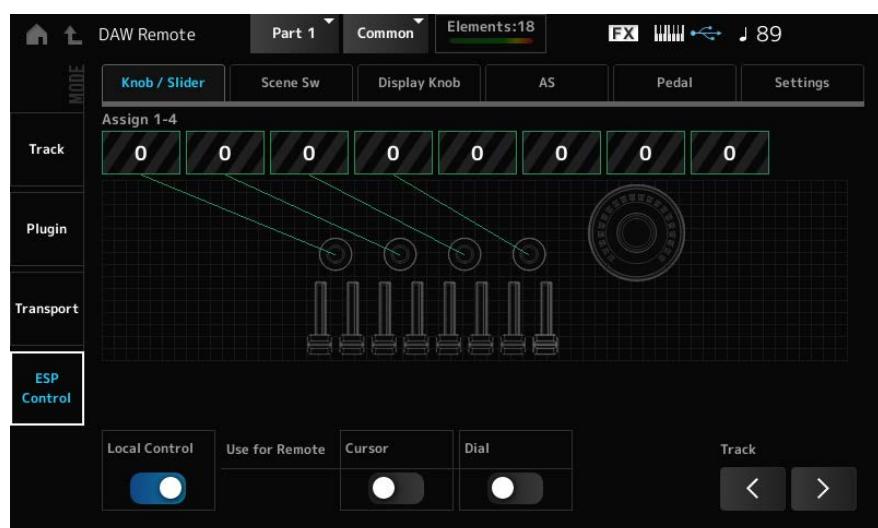
DAWリモート機能の動作を4つのモードから選択します。

設定値: Track、Plugin、Transport、ESP Control

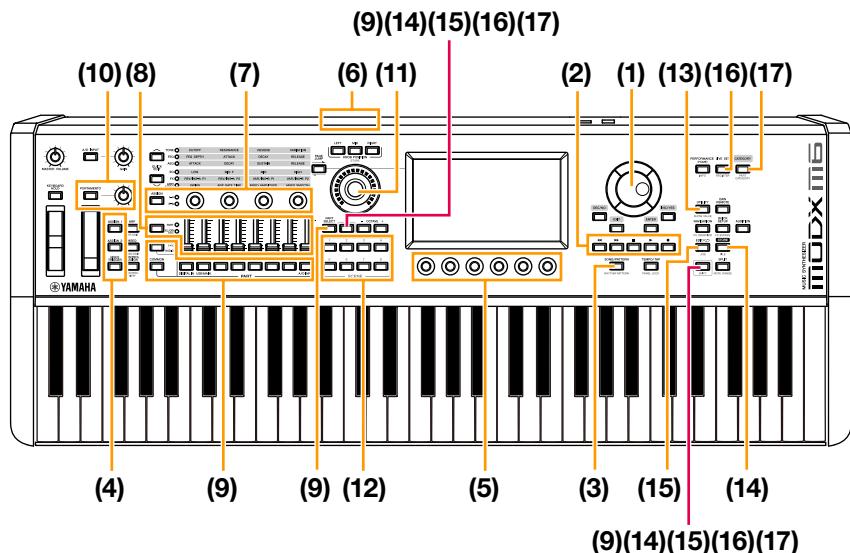
ESP Control: Expanded Softsynth Plugin (ESP) for MONTAGE M/MODX M を操作するためのモード。ESP (ポート4: SysEx)の制御に加えて、DAW (ポート1: CC、ポート2: Mackie Control)に対してもリモート操作を同時に行う

コントローラー操作時

■ ESP Controlモード



コントローラー



コントローラー	操作	対象
(1) データダイアル、カーソルボタン	カーソル位置やソングポジションの移動	DAW (ポート2)
(2) シーケンサートランスポートボタン	トランスポート(録音再生)	DAW (ポート2)
(3) [SONG/PATTERN]ボタン	ループ再生のオンオフ	DAW (ポート2)
(4) [ASSIGN 1]ボタン、[ASSIGN 2]ボタン、 [MSEQ TRIGGER]ボタン	コントロールチェンジ	DAW (ポート1)
(5) ディスプレイオフ	コントロールチェンジ	DAW (ポート1)
(6) FOOT CONTROLLER端子、 FOOT SWITCH端子	コントロールチェンジ	DAW (ポート1)
(7) [ASSIGN]ボタン、ノブ1～4(5～8)	アサイナブルノブ1～8	ESP (ポート4)
(8) スライダーファンクション[PART]/[EL/OP/OSC] ボタン、コントロールスライダー1～8	パート、エレメント、オペレーター、 オシレーターのポリューム	ESP (ポート4)
(9) [SHIFT]ボタン、 パートグループ[1-8/9-16]/[AUDIO]ボタン、 [COMMON]ボタン、PARTボタン、 [PART SELECT]ボタン	<ul style="list-style-type: none"> パート、エレメント、オペレーター、 オシレーターの選択 パート、エレメント、オペレーター、 オシレーターのミュートのオンオフ切り替え 	ESP (ポート4)
(10) [PORTAMENTO]ボタン、 PORTAMENTO [TIME]ノブ	<ul style="list-style-type: none"> ポルタメントのオンオフ ポルタメントタイムの調節 	ESP (ポート4)
(11) スーパーノブ	スーパーノブ	ESP (ポート4)
(12) SCENEボタン	シーン1～8	ESP (ポート4)
(13) [UTILITY]ボタン	Utility画面の開閉	ESP (ポート4)
(14) [STORE]ボタン	Store画面の開閉	ESP (ポート4)
(14) [SHIFT]ボタン + [STORE]ボタン	File Load/Save リストの開閉	ESP (ポート4)
(15) [SHIFT]ボタン + [EDIT/CD]ボタン	Data Transfer画面の開閉	ESP (ポート4)
(16) [LIVE SET]ボタン	Live Set Edit画面の開閉	ESP (ポート4)
(16) [SHIFT]ボタン + [LIVE SET]ボタン	Live Set Register画面の開閉	ESP (ポート4)
(17) [CATEGORY]ボタン	Performance Category Search画面の開閉	ESP (ポート4)
(17) [SHIFT]ボタン + [CATEGORY]ボタン	Part Category Search画面の開閉	ESP (ポート4)

